

令和 8 年 4 月 14 日

北上市立学校適正配置基本計画策定検討委員会
委員長 田代 高章 様

二子小学校区適正配置検討地域協議会
会長 川邊 董

二子小学校区適正配置検討地域協議会の報告について（結果）

時下、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、標記について、次のとおり報告いたします。

記

1 進捗状況
協議終了

2 協議内容
別紙「二子小学校区適正配置検討地域協議会の協議結果について」のとおり

担当 二子町振興協議会 齋藤 拓哉
電話 66-2050

二子小学校区適正配置検討地域協議会の協議結果について

北上市立学校適正配置基本計画の策定にあたり、当協議会において、二子小学校区の子どもたちを取り巻く教育環境の現状把握および将来の在り方について、協議し意見をとりまとめましたので、次のとおり協議結果を提出します。

1 結論

二子小学校を現行どおり存続することを希望します。

2 協議会の考え方

- ・二子小学校は、北上北中学校にも近接しており、児童が地域の中で一貫した教育および見守りを受けられる優れた立地環境にある。
- ・町内の中心部に位置し交通の利便性にも優れており、通学および地域内外との往来が円滑に行える条件を備えている。
- ・生徒数については、推計において令和 12 年度まで複式学級となる見込みは少ないことに加え、近年の工場誘致の進展により、今後の人口増加も見込まれる地域であり、将来的な児童数の維持の可能性を有しており、単独校として適正な教育環境を維持できる状況にある。
- ・創立 150 年を誇る二子小学校が地域の中核として存続することは、郷土愛を深め、伝統ある地域文化を継承していく力となる。

3 今後の地域の取り組み

学校の存続に向け、これまで以上に教育活動へ積極的に参画し、地域学校協働活動の充実を図り、地域一丸となって子どもたちの健やかな成長を支える取組を継続していく。